

# 礎

いしづえ

## 概念よりも行動を

渡辺英昭



青年部  
創立二十  
周年おめ  
でとうご  
ざいます。  
部設立  
の当時は

振り返りますと、当時は高度経済成長の末期に当り、大型店進出等の問題はあったが、現在に比べれば順調な商業活動が行われていたように思われます。その後間もなく、我国は所謂オイルショックに見舞われ「激動の七十年代」と云われ、商工業のみならず生活様式・物の考え方・価値観の急激な変化が起りました。八十年代になりますと、「地方の時代」と云われ「ムラおこし、マチづくり」と云う言葉が数多く聞かれるようになりました。現在は我が町に限らず全国各地の中心商店街は、大型店の進出・郊外型ロードサイド型大型店の出現等により地盤沈下を余儀なくされています。又、今後無店舗販売等商業をとりまく環境は、その変化の速度をますます早めて行くと思われまます。商業統計調査によれば数年来商店は減少の時代に入っていることは間違い無い事実であります。もう商店は、惰性或片手間では生き残れない時代な

です。我が町でも中心商店街の整備事業が行われようとしていますが、非常に早いテンポで進んで行く社会の中で「商業の基本は何か」「零細小売業の必要性と社会的地位の向上」について全ゆる角度から真剣に考えてみたいものです。商店街には企業的タテの組織がなく、物販と飲食店・専門店と兼業店の混在・売上規模の相違・土地店舗の所有関係等共通の目的や課題に向けて意志統一を図るのを非常に困難にしています。又近年は、社会が複雑化した為か商店街の中にも数多くのグループ・団体があり、商店街の人間関係を更に複雑にしているようです。このように二十年間のうちに社会は非常に早い速度で変化しており、これからはそれ以上に加速されて変化して行くことは間違いありません。これからの商店経営を考える上で、前記のような問題は他にもいろいろありますが、とにかく「進んで商業後継者になりたい」と云われるような商店であり、商店街であるためにはどのようにすべきか、抽象的概念よりも具体的な方策をみつけ出すことに、健全な青年部諸君の柔軟な思考と積極的な行動力を期待するものです。

## 十年の歩みと展望

岡本藤久蔵



二十周年オマデ  
トウ。人  
生にたと  
えて成人  
式、又青年部員が

年金受給資格間近と云う期間。見方をかえれば、転流水工事が始まる三春ダムの話しが出たのが二十年前である。時の町長が、三春に大滝根ダムが出来る。省関係より話しがあった。今その帰り、町も変わるだろう、と地元三春で第一声の発表挨拶をした。当青年部主催の町政懇談会、北町の農協会館の二階である。ダムに関しては当時、特別の認識もなかったので聞きおく程度でいたが、議会に報告する前に商工会青年部に発表するのは何事だ！とその節で問題になった。と後で聞いた。若人の研修組織が少なく、スポ・レク全盛時に発足した青年部に「激」として〇〇軽視さを覚悟し話しをしてくれたのかと思う時、その度量は計りしれない。

四十八年当時、予算三十万、親睦に野球、ボーリング。研修は町政懇談会、政治連盟、役員会への出席と講演会。組織づくりが主なので活動内容は現在と雲泥だが役員・部員に意欲があった。例の町政懇談会だが議員二十二名、町長各課長並にダム調査事務所長を迎えての開催である。①人口増加対策と住宅建設②工場用地建設と誘致③東北横断道の三春通過とバイパス建設④公営駐車場の早期設置⑤統一盆踊りと観光対策等について代表質問後、意見交換をした。その後の進行状況は諸兄ご案内の通り、判断はおまかせする。又、青年部活動ではないが町内で三春観光振興会、明るい祭礼推進委、三春民謡保存会、新世代の会、三春ロータリー、刷新連盟、商工会婦人部等各種団体が結成発会した。各々の立場で積極活動されたのを想い当時の各位に敬意を表したい。

近年の〇〇おこしが、昨年の愛姫ブームで頂点に達した。イベントづけを心配しながらも、その時代その時にしか出来ない行事がある。それが可能性に向かって積極的に取り組める熱と力があるのが青年部である。

今後の一層の発展を祈念する。





## 歴代部長一覽

	氏名	事業所名	任期
初代	渡辺英昭	カネイ呉服店	44年～47年
2代	岡本藤久蔵	岡本衣料店	48年～49年
3代	堂山武彦	堂山魚店	50年～51年
4代	橋本徳男	(有)橋本農機商会	52年～53年
5代	内藤忠	(株)菊川屋	54年～55年
6代	渡辺攻	(有)三洋自動車整備工場	56年～57年
7代	染谷憲一	マルミ酒店	58年～59年
8代	白岩孝吉	白岩建築	60年～61年
9代	橋本俊宏	一久屋商店	62年～

## あの時の思い出



私は、  
第三代目  
部長に選  
任されま  
した堂山  
です。昭  
和四十四

### 堂山武彦

年九月結成時は、町商店会と工業  
会が一对となつて、青年部が発足  
したのですが、昭和五十年六月十  
三日第七回総会にて、本年度の重

点目標に各支部結成と、新会員募  
集による組織の強化をスローガン  
にかかげ、役員一同の全力投球に  
より、設立委員会の結成をみ、約  
六ヶ月の歳月を掛けて支部誕生と  
なりました。  
その後、活動方法をどうするか  
との難問題が出て来ました。その  
中で各部構成による委員会の設置  
はどうかとの意見が出され検討の  
結果、体育部・親睦部・観光部・

教養部・厚生部、以上の五部会制  
をひき、支部会員が全員入部出来  
る様にし、青年部事業運営に万全  
を期し、よりよい部会発展にしよ  
うということに全員一致にて決定  
しました。

記念すべき部会制初の事業とし  
て、体育部主催による第一回支部  
結成ソフトボール大会と、商工会  
婦人部との合同バレーボール大会  
を実施し、教養部では会計帳簿に  
よる記帳指導講習会(定例会の実  
施)等研修することによって、今  
後商店経営をどうするのか、など  
諸問題の解決に向け発進しました。  
観光部では、婦人部と合同で、  
三春盆踊り大会々場にて売店を出  
店しました。この出店には反対も  
ありましたが、部会活動運営費が  
困難なため、役員自から先頭に部  
員全員が参加し、大成功をおさめ  
ました。

厚生部は会員相互の親睦を図る  
ため、レクリエーションとして、  
第一回将棋大会・マジジャン大会  
を年度終りの三月頃実施し、一盃  
飲みながらの大会で、部員参加者  
一同大満足でした。

その他に、三春町を文化町とす  
るための夢のかけ橋として、部長  
提案による演劇、新制作座公演  
「どろかぶら」を計画し、役員会  
に提出したところ、第一回の会議  
では九十八%の賛成を戴いた。そ  
して部長と渡辺洋君(中町役員)  
と二人で、福島公演があるので下  
調べをしようとして市民文化センタ

まで行き、新制作座の真山志保社  
長と面談しました。これを内容そ  
の他諸問題を検討する第二回目の  
役員会に報告するが、当時の三春  
町には施設がなく、又経費がかか  
りすぎるとの結論になり、残念な

## あの時も今も



青年部  
設立二十  
周年記念  
号「礎」  
発行記載  
にあたり  
お祝と感

がら取り止めとなりました。  
あの時は非常に残念でしたが、  
今後、三春町の文化センター設置  
運動を青年部一同で町へ陳情して  
もらい、ぜひあの時の思いをもう  
一度見させて頂きたい。

### 橋本徳男

謝を申し上げます。青年部の皆様  
の益々の御活躍と御繁栄されてい  
ますことを心よりお慶び申し上げ  
ます。私共の青年部時代と違い広  
範囲におかれて活動されています  
ことは私が申し上げるまでもなく  
会員一同が感じており、これも部  
長中心に部員一同の結束の賜であ  
り、我々OBの喜びとするところ  
です。益々の御活躍を心よりお祈  
り申し上げます。私共の青年部時  
代は県下第二位の部員数でありま  
した。そこで何か行動を起こし一  
丸になれば大きな仕事をするこ  
とが出来ると思い、第一回電話帳作  
りを実施致しました。そして同時  
に活動資金をつくることができました。  
最初ではありましたが、商

工协会会员皆様の絶大の御支援と御  
協力によって完成しました。部員  
役員の方々には何ヶ月という御苦  
勞をかけ、申し訳ありませんでし  
たが、今となつては良い思い出と  
なっております。現在もなお、当  
時の役員により青年部六町役員会  
による「青六会」を発足し、親睦  
を計り、長く継続されるようにお  
城山の町民の森を年二回の草刈奉  
仕作業を、家族同伴で実施してい  
るところです。又今年は一つの節  
目として長く足跡が残るよう、町  
民の森の入り口に碑を寄贈させて  
戴きました。人間の出会いを大切  
にすることが、いろいろな形とな  
って表れてくることですので、出  
会いをどのように考えるかによつ  
て人間関係の原点が出来るのでは  
ないでしょうか。  
今後益々志を密にされ、三春町  
商工会の発展の礎となることを御  
期待申し上げます。皆様の御健康と御  
多幸を心よりお祈り申し上げます。



# 私の商工会青年部

内藤 忠



私が商工会青年部に誘われたのは青天の霹靂です。それまで

は、ロッテデールの会、新世代の会等の組織作りに参画し、同じ主義主張の人達が集まる団体でのみ活動しておったのです。この時の心意気は、中国の毛沢東主席が

「自分から国際連合には求めて加盟しないで招請があれば加盟するのによぶさかでない。」との言葉を引用して、私も公的組織に誘われるまで人間的総合力を蓄えるのに努力をしておったのです。

こんな時突然に青年部本部役員に選ばれたのです。そして考えた事が何点かございます。それは予算が少ないので活動資金の捻出と研修旅行の確立でございます。この研修旅行も目的を明確にし研修した事は、必ず報告をする。そして、今一歩進めて自分達の地域活動に智恵を出し行動を起す事等を考えたのです。それは行政と共に活動を起す事の重要さも認識する大事な点だと思つたのです。その一つの体験を申し述べます



と、青年部で研修するに当たり、役場から援助を受けて少し箱のある勉強をする事になったのです。それで視察先への連絡と我々の行動を深く認識して頂く為に、予算をつけて貰うのを強力に要請した事がございます。役場の組織を研究し三ヶ所程打診した結果、当時の産業課に見つけ出し商工会青年部有史以来初めて予算をつけて頂いたものです。

二泊三日の予定で飛驒高山と横浜市の都市計画等を研修して来たのです。この時、都市計画では日本に有数な田村明現法政大学教授に四時間に渡り講義をして頂き、今は国連の職員として海外で活躍している岩崎技監に現場を案内して頂き、本物の研修をして来たのです。この様な活動を通してすばらしい仲間を得る事が出来たのです。以上述べました事は大事な人生の一頁を飾って貰った青年部時代のホンの一部でございます。

三春町商工会青年部バンザイ

# 人生最高の六年間

渡辺 攻



三春町商工会青年部の皆様、青年部設立二十周年を迎え心よ

り御慶び申し上げます。私が青年部の役員になったのは、橋本徳男部長の時でした。以来三期六年間という間役員を務めてまいりました。最初は私が会計を担当致しましたが、何分にも予算もなく一年間の青年部の事業を運営出来るのか不安でした。役員会でいろいろ話し合い、全員自費で飯坂温泉一泊で会議室を借りて長時間にわたり話し合った結果が、現在まで続いております三春町の電話帳を青年部で作成発行する事でした。当時の役員の方、青年部の皆様方の日夜の苦勞を現在でも思いだし、本当に良くやり通したものだと思致しております。

又研修旅行では飛驒高山の古い町並み、そして横浜市の新しい町並み等マイクロバスで車中一泊という強行軍の中研修をしたものです。当時の役員の方々に現在も青六会という会を作り親交を深めております。二期目は副部長を務め

運営にあたりました。私が部長になった時は、副部長以下、各スタッフに恵まれ、大いに協力して頂き、又よく夜中まで呑み歩きました。この時の一番の思い出として妻籠から足助の工芸村への研修旅行があります。スケジュールはかなりきつく食事抜きの時もありま

# 今から明日へ

染谷 憲一



商工会青年部、結成二十周年おめでとうございます。

青年部の活動を通して、三春町の商工業、及び地域の活性化に大いに貢献されている事は周知の通りであります。

私の任期中には、委員会制の発足や三春まつり協賛の一夜城作成そして商工会野球大会初の県大会出場等様々な想い出があり、部員の皆様のご協力のおかげと大変感謝しております。さて、青年部の

した。現在でも、この時の役員方々とOB会を開き酒の席等で話題になります。六年間という間、数多くの研修会、又研修旅行等に参加させて頂き自分自身の勉強にもなりました。青年部の皆様方も今後、機会ある時は、青年部発展の為、又自分自身の為に大いに参加する事を期待します。

話は変わりますが、そろそろ青年部主催で、OBの方々を交えて年一回位のゴルフ大会等企画しても良いのではないのでしょうか。期待しております。

事業の中には前年より継承されている事業、そして新しい事業があると思えます。よく私も役員会や各種事業を通じて、青年部とは何んだ。とよく部員の皆さんと議論致しました。商工会の名がつくから商工業の為に、いやもっと広い意味で活動すべきだ。等々、皆真剣に意見を出して来ました。今、三春町の商工業を取り巻く環境の変化は、私達の考えている以上に速いスピードで迫ってきております。特に各道路建設やダム建設に伴う各事業、そして商店街整備事業等どれを取っても、私達の商工業活動に重大な影響を及ぼすものばかりです。そういう厳しい中で、



青年部の活動に期待する声が年々多くなっていると思います。青年部の活動には、予算の面や年令制の問題等、色々な制約があるかと思われませんが、親商工会や婦人部さんが出来ない青年部の独自の事業を、発想の転換と若い実行力で

実行して頂きたいと思います。最後になりましたが、青年部の増々の発展と、この「礎」を通して部員相互の意見の発表、提案等有意義に活用し青年部の機関紙として、長く続けられる事をお祈り申し上げます。頑張ってください。

い会の中から自分達が生活して行く上で、大切な会は何かを取捨選択して、それに重点的に若い力を注入して行かなければならないと

思う次第であります。尚一層の青年部の発展を期待します。

「ザ・フェスティバル」で「跳んで・翔んで・飛んで・二十世紀へ子供達とともに」は青年部員のみならず三春町、又商工会等の数多くの方々の御協力により開催されます事を大変感謝申し上げます。

# 思い出多き青年部時代

白岩孝吉



私の部  
長時代、  
最大の事  
業は延参  
加人数八  
十一名で  
行った中

野商業まつり参加でした。盆前の八月二日・三日という最も忙しい時期に、これだけの多人数の人の協力を得られた事は大変ありがたいう事でありまして、部員の若き力が一致団結したときの強烈なる火花のスパークする激しさをあらためて痛感いたしました。

この事業は、町役場側からの要請により、荒獅子保存会や町観光協会等の絶大なご協力のもとに実施できた訳であります。準備段階では、必ずしもスムーズに事が進んだわけではありません。意志疎通の不徹底や準備の手違い等により、ギクシャクしたまま一気に中野区まで雪崩れ込んだ面もあり

しかし、今になって考えてみますと、ある面では踊らされた面もありません。完了後の満足感は今までないものであります。それはどういう事かと言いますと、三春町PRの先陣を引き受けたという感想を持ったからです。即ち、この催しには三春の物産の展示即売をはじめ、民族芸能のPRを行ったのですが、出費ばかりが多く必ずしも営業的には成功した訳ではありません。でも一人一人がチラシをまき、呼び込みを行い、そして汗水流して踊った事は、自分の背中に三春町を背負っている感じを痛切に感じました。

第五号「礎」を発行できました事を部員一同と共に喜びたいと思えます。これも一重に歴代の部長さんを中心にして、部員一丸となり、勉強会や先進地の視察等、スポーツを通しての親睦を計りながら、幅広い事業を行った成果ではないかと思えます。そして忘れてならないのは、親商工会よりの御指導と婦人部の御協力であらうと深く感謝申し上げます。

私達青年部は福島県という地方に生まれ、三春という地域に育ち郷土愛を深くもっている団体ではないかと思えます。よく若者が動くとき、その地域は変わると言われます。私もその通りだと思います。青年の時代はやはり行動を起こす時代です。又、起こさなければいけない時代では



本日、  
ここに商  
工会青年  
部設立二  
十周年記  
念特集号  
として、

# 二十周年の決意あらたに

橋本俊宏

今日、この時代に来る事と思えます。なぜなら一の事を一緒に考え、討論をし物事を真剣にみつめて、そして行動に移す。その積み重ねが、良き友人が出来たりと、いろんな形として結果がでる事と思えます。

我々、青年部は今後も部員一丸となり、地域のお役に立てる様頑張りたいと思っておりますので、先輩、OB諸氏、又は関係各位皆様の御指導、御援助をよろしくお願い申し上げます。

今回企画した二十周年記念イベ

三春町商工会青年部設立20周年記念

# ザ・フェスティバル

飛んで・翔んで・飛んで・21世紀へ子供達とともに

雨天決行！

日時 9月18日 AM8:30より

会場 三春小学校

主催/三春町商工会青年部  
後援/三春町・三春町商工会・三春町商工会婦人部  
三春町内各企業・福島民友新聞社

参加企業

- 市任久間民芸
- 三春メリヤス工業㈱
- ㈱ソーイング丸井
- 佐藤酒造㈱
- 平岡レーズ㈱
- ㈱中野商店
- ㈱バベル・オー
- 三春町役場農林課 (アイウエロ)
- 三春菓子組合

会場案内

なわとび大会

三春せうめん早唄い競争

歌謡ショー

三春元祿

紙ひこうき大会

与作の切り競争



三春町商工会青年部

二十一年のあゆみ

月日	事業内容	月日	事業内容	月日	事業内容	月日	事業内容
44・9・26	青年部設立総会 (一〇八名にて発足)	47・10・18	商工会親善野球県中地区大会	52・3・18	商店経営講演会 講師 中小企業診断士 細貝 繁氏	54・10・21	支部対抗ソフトボール大会 文化講演会 講師 高橋哲夫氏
11・15	労務対策研究会開催 講師 オリジン電機 高橋 晷氏	48・3・26	経済講演会	7・9	第9回通常総会	55・3・24	講師 高橋哲夫氏
6・4・30	第2回通常総会	5・16	第5回通常総会	7・9	商工会親善野球田村郡大会	5・17	子供映画会開催
6・19	町政懇談会	8・15	観光三春盆踊り協力	8・15	観光盆踊り協力・売店出店	6・24	商工会親善野球田村郡大会
6・24	「いげたストア」石川・棚倉町視察	9・8	経済講演会共催 講師 藤原弘達氏	9・17	婦人部との合同バレーボール大会	7・24	商工会親善野球田村郡大会
7・15	経営研究会 講師 安田正夫氏	9・14	町政懇談会	11・6	支部対抗ソフトボール大会	8・28	山形県陽明市商工会青年部来会 視察研修会(ジャパンショップフェア'81と吉祥寺再開発)
9・20	親善野球大会	9・21	商工会親善野球田村郡大会	2・19	本宮、船引町両青年部との交換研修会	3・17	視察研修会報告会
10・11	本宮商工会視察研修	9・21	商工会親善野球田村郡大会	2・19	新年会(マージャン・将棋大会を行う)	3・17	『第2回目の電話帳を作製』
6・5・18	第3回通常総会	2・7	県下バレーボール大会	5・15	町長、助役との懇談会	5・10	稚児行列協力
6・8	町議会との町政懇談会	2・16	第6回通常総会	5・15	『第1回目の電話帳を作製』	5・15	視察研修会(仙台市及び酒田市の商店街視察)
9・7	バレーボール大会三春予選	8・15	観光三春盆踊り協力	6・14	第10回通常総会	6・5	第13回通常総会
9・17	経済講演会	8・15	観光三春盆踊り協力・売店実施	7・20	商工会親善野球田村郡大会	6・17	全国商工会青年部連合会長賞受賞
9・19	講師 日本銀行福島支店長 商工会親善野球田村郡大会	8・30	商工会親善野球田村郡大会	8・15	観光盆踊り大会参加・売店出店	6・27	商工会親善野球田村郡大会
10・8	バレーボール大会県中大会 (2位となり11月25日の県大会出場)	7・8	大会	8・15	婦人部との合同バレーボール大会	11・16	税務講演会(及び2月27日)
10・20	商工会親善野球県中地区大会 経営講演会	7・8	商店街診断・交通量調査協力(及び11日)	9・16	婦人部との合同バレーボール大会	11・16	講師 小寺常寿氏
11・22	第4回通常総会	8・8	商工会親善野球田村郡大会	11・22	視察研修会(飛騨高山方面)	11・24	親善バスケットボール大会
8・4・19	観光盆踊り大会参加	8・19	観光盆踊り大会・売店実施	11・22	経済講演会	11・25	龍ヶ崎市商店街視察研修会
9・12	バレーボール大会	9・26	中元売出し歌謡ショー・売店実施	54・1・28	講師 郡山帝国興信所々長 原 俊文氏	町づくり講演会後援	
9・25	商工会親善野球田村郡大会	52・2・20	新年会	6・7	第11回通常総会	57・2・6	講師 山形県庁 半田次男氏



